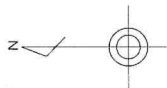
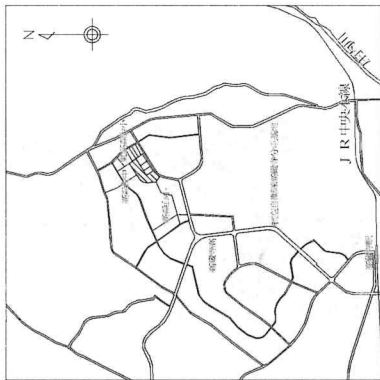


住宅名	東高森台
地区	尾張春日井市 2-5
住宅コード番号	182
図面番号	1-7



案内図



A3判
縮尺 1 : 1 5 0 0
A4判
縮尺 1 : 2 1 2 1

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

分析を実施した石綿分析機関

① 名 称	㈱コスモ環境衛生コンサルタント	② 代表者氏名	伊藤 教博
③ 所 在 地	愛知県名古屋市中区城北町三丁目 129-2 TEL : 052-529-2656 FAX : 052-529-2671		
④ 登録番号(作業環境測定機関)	第 2 3 - 7 1 号		
⑤ 連絡担当者	堀井 日出男		

物件名称

⑥ 物件名称	東高森台住宅建替基本計画策定調査 (第1次)
--------	------------------------

分析結果

試料 No.	⑦ 採取箇所 (採取部位)	⑧ 定性分析結果			⑨ 定量分析結果	別添 データ No.
		アスベスト の含有	アスベスト の種類	推定質量 分率	石綿含有率	
1	アクリル系リシ(塗材)、301号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5245
2	アクリル系リシ(塗材)、 302号棟増築・外壁	有・無	—	0 %	—	F5246
3	アクリル系リシ(塗材)、302号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5247
4	アクリル系リシ(塗材)、 302号棟西電気室・外壁	有・無	—	0 %	—	F5248
5	アクリル系リシ(塗材)、 303号棟増築・外壁	有・無	—	0 %	—	F5249
6	アクリル系リシ(塗材)、303号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5250
7	アクリル系リシ(塗材)、集会所・外壁	有・無	—	0 %	—	F5251
8	アクリル系リシ(塗材)、 304号棟西ポンプ室・外壁	有・無	—	0 %	—	F5252
9	アクリル系リシ(塗材)、304号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5253
10	アクリル系リシ(塗材)、 305号棟南電気室・外壁	有・無	—	0 %	—	F5254
11	アクリル系リシ(塗材)、 305号棟増築・外壁	有・無	—	0 %	—	F5255

試料 No.	⑦ 採取箇所 (採取部位)	⑧ 定性分析結果			⑨ 定量分析結果	別添 データ No.
		アスベスト の含有	アスベスト の種類	推定質量 分率	石綿含有率	
12	アクリル系リシ(塗材)、304 号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5256
13	アクリル系リシ(塗材)、305 号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5257
14	アクリル系リシ(塗材)、306 号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5258
15	アクリル系リシ(塗材)、 306 号棟北電気室・外壁	有・無	—	0 %	—	F5259
16	アクリル系リシ(塗材)、 308 号棟北ポンプ室・外壁	有・無	—	0 %	—	F5260
17	アクリル系リシ(塗材)、307 号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5261
18	アクリル系リシ(塗材)、308 号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5262
19	アクリル系リシ(塗材)、309 号棟・外壁	有・無	—	0 %	—	F5263
20	以下余白	有・無				
21		有・無				

注 1) 定性分析は JIS A 1481-1 に基づく偏光顕微鏡法を実施する。

定量分析は JIS A 1481-3 に基づく X 線回折定量分析法を実施する。

注 2) 推定質量分率は以下のように分ける。

①無検出(0%) ②検出 ③0.1%~5% ④5%~50% ⑤50%~100%

(②検出は分析中にアスベスト繊維が 1 本又は 2 本だけ検出され、その観察が試料の意図しない汚染の結果であるおそれのもの。)

注 3) 種類の項には次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/Act:トレモライト/アクチノライト Ant:アンソフィライト

(5/2021 改)

杉

た

1. う

① 名

③ 月

④ 巻

⑤ 欠

(社

⑥ 通

⑦ 欠

2.

⑧ 杉

3.

⑨ 分

4.

繊維

(別添

繊維

(別添

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 分析を実施した石綿分析機関

① 名 称	㈱コスモ環境衛生コンサルタント	② 代表者氏名	伊藤 教博
③ 所 在 地	愛知県名古屋市西区城北町三丁目 129-2 TEL : 052-529-2656 FAX : 052-529-2671		
④ 登録番号(作業環境測定機関)	第23-71号		
⑤ 分析実施者 ((社) 日本作業環境測定協会認定)	堀井 日出男 (JIS A1481-1 合格認定 2009 合 0008 号)		
⑥ 連絡担当者	堀井 日出男		
⑦ 分析方法	JIS A 1481-1 偏光顕微鏡法による定性分析		

2. 物件名称

⑧ 物件名称	東高森台住宅建替基本計画策定調査(第1次)
--------	-----------------------

3. 分析実施日

⑨ 分析実施日	令和3年10月26日 ~ 11月 2日
---------	---------------------

4. 分析結果

	⑩検出された アスベスト	⑪推定アスベスト 質量分率	⑫非アスベスト 繊維	⑬コメント
繊維1 (別紙1)	無検出	0 %	無	調製後の試料より アスベスト無検出を確定
繊維2 (別紙2)	* *	* *	* *	* *

5. 試料採取履歴

⑭ 採取年月日	令和3年10月12、13日			
⑮ 試料受付日	令和3年10月15日			
⑯ 建材名称	アクリル系リシン（塗材）			
⑰ 建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	東高森台住宅		
	用途	県営住宅		
⑱ 施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48、49年度に建設			
⑲ 建物などの採取部位及び場所	採取部位	外壁		
	場所	306号棟		
⑳ 試料の概要 （形状又は材質、試料の大きさ）	形状又は材質	粉粒・小片状	均一性の有無	無
	試料の大きさ	大きさ：0.9cm×0.6cm 厚さ：1mm未満 他		
㉑ 採取者氏名	野田 隼大			

6. 分析試料の調製

㉒ 灰化	☒ 実施 ・ 未実施	電気炉 THOMAS TMF-5T 485℃ 10時間
㉓ 酸処理	☒ 実施 ・ 未実施	2mol/L 塩酸
㉔ 浮遊沈降法	実施 ・ ☒ 未実施	

7. 偏光顕微鏡の型式

㉕ 顕微鏡のメーカー・型式	メーカー	ニコン
	型式	ECLIPSE LV100ND
㉖ コンデンサ	型式	LV-CUD
㉗ 対物レンズ	型式	CFI P Achromat 10×40×（偏光用）
		CFI Plan Flour 40×DS（分散用）
		CFI Achromat 10×DS（分散用）

8. 繊維 1 偏光顕微鏡法 分析結果詳細

㉘形態学的性状（全ての特徴を備えていること）	結果
長さ $5\mu\text{m}$ を超える繊維である	×
アスペクト比が 20 : 1 以上ある	×
繊維の伸長方向に沿って $0.5\mu\text{m}$ の幅の細い単繊維に分けられる	×

㉙形態学的性状（いずれかの特徴を備えていること）	結果
繊維束になっている互いに平行な繊維である	×
繊維束の端部でほつれが見られる	×
細い針状の繊維である	×
個々の繊維が絡まりあった塊である	×
屈曲がみられる繊維である	×

光学的性状		
㉚ 分散色	使用した浸液の屈折率 (25℃)	1.550
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった時	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交になった時	* *
㉛ 色	* *	
㉜ 多色性	—有———無—	
㉝ 複屈折	—有———無—	
㉞ 消光角	直消光———斜消光 (———°)———	
㉟ 伸長性	—正———負—	

㊱その他所見	本試料は2層構造である。(11. 塗材写真(断面) 参照) 調製後の試料よりアスベスト様形態を示す繊維は検出されなかった。
--------	--

㊲ 分析結果	無検出
--------	-----

9. 繊維 2 偏光顕微鏡法 分析結果詳細

③形態学的性状（全ての特徴を備えていること）	結果
長さ $5\mu\text{m}$ を超える繊維である	* *
アスペクト比が 20 : 1 以上ある	* *
繊維の伸長方向に沿って $0.5\mu\text{m}$ の幅の細い単繊維に分けられる	* *

④形態学的性状（いずれかの特徴を備えていること）	結果
繊維束になっている互いに平行な繊維である	* *
繊維束の端部でほつれが見られる	* *
細い針状の繊維である	* *
個々の繊維が絡まりあった塊である	* *
屈曲がみられる繊維である	* *

光学的性状		
⑩ 分散色	使用した浸液の屈折率 (25°C)	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった時	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交になった時	* *
⑪ 色	* *	
⑫ 多色性	—有— —無—	
⑬ 複屈折	—有— —無—	
⑭ 消光角	直消光 — 斜消光 (— $^{\circ}$) —	
⑮ 伸長性	—正— —負—	

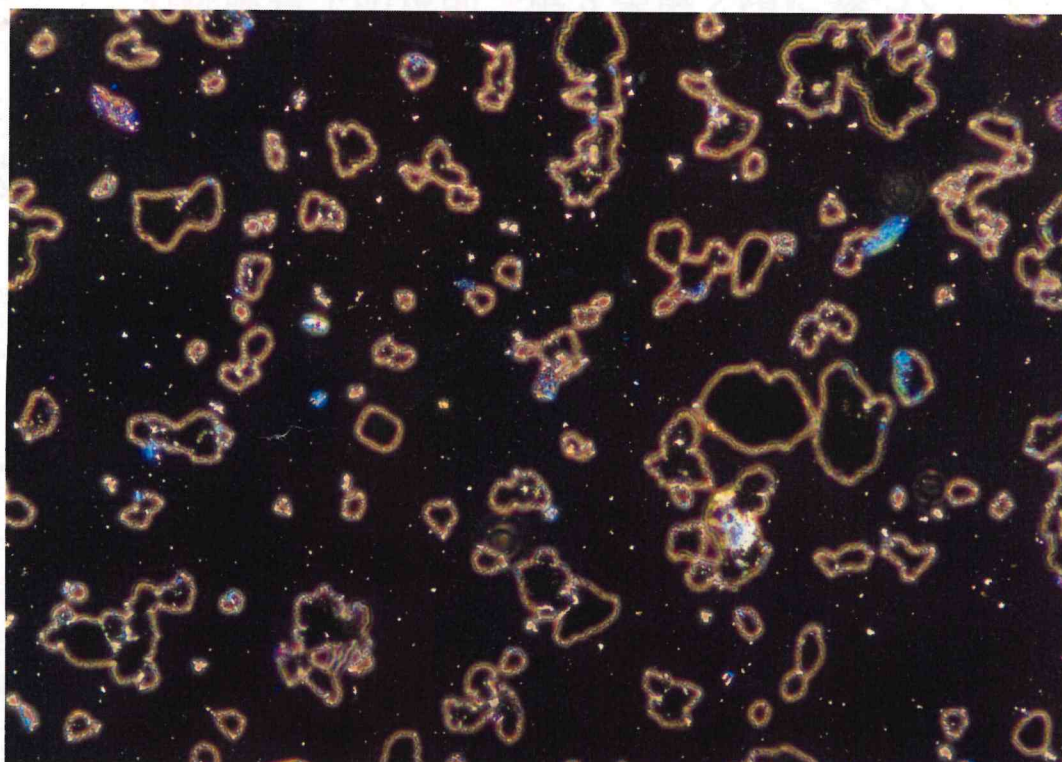
⑯ 他所見	
-------	--

⑰ 分析結果	
--------	--

10. 偏光顕微鏡において繊維が示す光学的性状の写真

分散色（浸液屈折率 1.550）

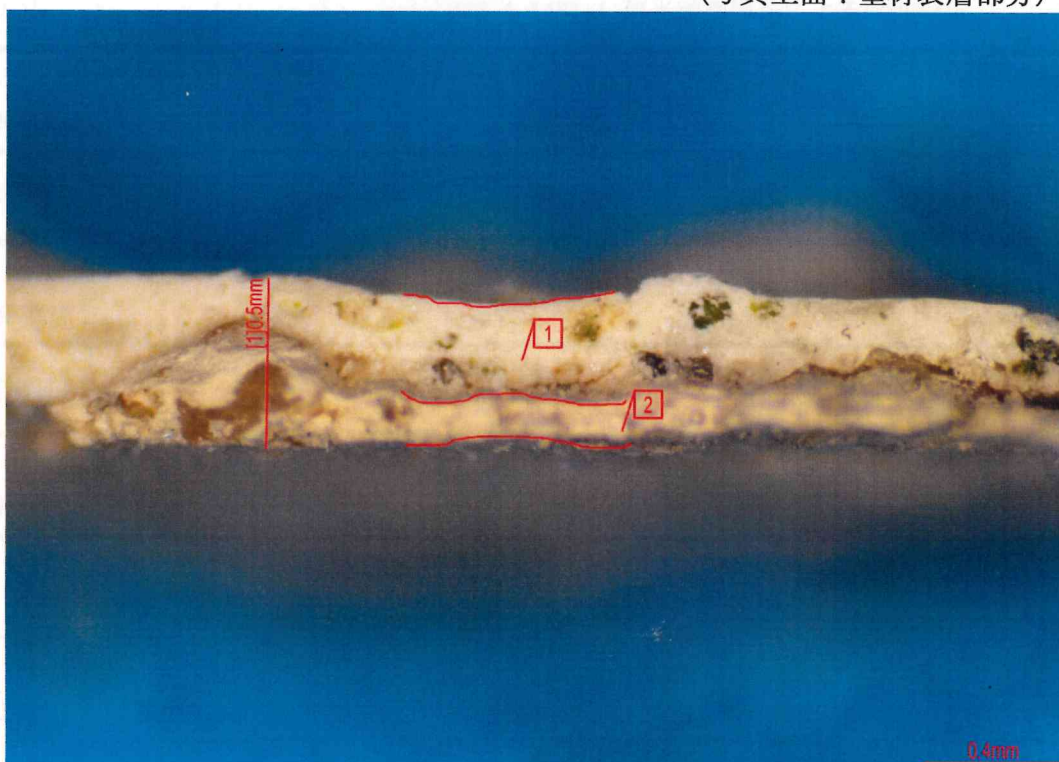
調製（灰化・塩酸処理）後の試料



アスベスト繊維無検出

11. 塗材写真（断面）

（写真上面：塗材表層部分）



アスベスト繊維無検出

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 分析を実施した石綿分析機関

① 名 称	㈱コスモ環境衛生コンサルタント	② 代表者氏名	伊藤 教博
③ 所 在 地	愛知県名古屋市中区城北町三丁目 129-2 TEL : 052-529-2656 FAX : 052-529-2671		
④ 登録番号(作業環境測定機関)	第23-71号		
⑤ 分析実施者 ((社) 日本作業環境測定協会認定)	堀井 日出男 (JIS A1481-1 合格認定 2009 合 0008 号)		
⑥ 連絡担当者	堀井 日出男		
⑦ 分析方法	JIS A 1481-1 偏光顕微鏡法による定性分析		

2. 物件名称

⑧ 物件名称	東高森台住宅建替基本計画策定調査(第1次)
--------	-----------------------

3. 分析実施日

⑨ 分析実施日	令和3年10月26日 ~ 11月 2日
---------	---------------------

4. 分析結果

	⑩検出された アスベスト	⑪推定アスベスト 質量分率	⑫非アスベスト 繊維	⑬コメント
繊維1 (別紙1)	無検出	0 %	無	調製後の試料より アスベスト無検出を確定
繊維2 (別紙2)	* *	* *	* *	* *

5. 試料採取履歴

⑭ 採取年月日	令和3年10月12、13日			
⑮ 試料受付日	令和3年10月15日			
⑯ 建材名称	アクリル系リシン（塗材）			
⑰ 建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	東高森台住宅		
	用途	県営住宅		
⑱ 施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48、49年度に建設			
⑲ 建物などの採取部位及び場所	採取部位	外壁		
	場所	307号棟		
⑳ 試料の概要 （形状又は材質、試料の大きさ）	形状又は材質	粉粒状	均一性の有無	有
	試料の大きさ	大きさ：		
㉑ 採取者氏名	野田 隼大			

6. 分析試料の調製

㉒ 灰化	☒ 実施 ・ 未実施	電気炉 THOMAS TMF-5T 485℃ 10時間
㉓ 酸処理	☒ 実施 ・ 未実施	2 mol/L 塩酸
㉔ 浮遊沈降法	実施 ・ ☒ 未実施	

7. 偏光顕微鏡の型式

㉕ 顕微鏡のメーカー・型式	メーカー	ニコン
	型式	ECLIPSE LV100ND
㉖ コンデンサ	型式	LV-CUD
㉗ 対物レンズ	型式	CFI P Achromat 10× 40× (偏光用)
		CFI Plan Flour 40×DS (分散用)
		CFI Achromat 10×DS (分散用)

8.

㉘形

長さ

アス

繊維

㉙形

繊維

繊維

細い

個々

屈曲

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱そ

㊲

8. 繊維 1 偏光顕微鏡法 分析結果詳細

㊸形態学的性状（全ての特徴を備えていること）	結果
長さ $5\mu\text{m}$ を超える繊維である	×
アスペクト比が 20 : 1 以上ある	×
繊維の伸長方向に沿って $0.5\mu\text{m}$ の幅の細い単繊維に分けられる	×

㊹形態学的性状（いずれかの特徴を備えていること）	結果
繊維束になっている互いに平行な繊維である	×
繊維束の端部ではつれが見られる	×
細い針状の繊維である	×
個々の繊維が絡まりあった塊である	×
屈曲がみられる繊維である	×

光学的性状		
㊺ 分散色	使用した浸液の屈折率 (25℃)	1.550
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった時	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交になった時	* *
㊻ 色	* *	
㊼ 多色性	—有— —無—	
㊽ 複屈折	—有— —無—	
㊾ 消光角	直消光 —斜消光 (— °)—	
㊿ 伸長性	—正— —負—	

㊿その他所見	調製後の試料よりアスベスト様形態を示す繊維は検出されなかった。
--------	---------------------------------

㊿ 分析結果	無検出
--------	-----

9. 繊維 2 偏光顕微鏡法 分析結果詳細

③⑧形態学的性状（全ての特徴を備えていること）	結果
長さ $5\mu\text{m}$ を超える繊維である	* *
アスペクト比が 20 : 1 以上ある	* *
繊維の伸長方向に沿って 0.5 μm の幅の細い単繊維に分けられる	* *

③⑨形態学的性状（いずれかの特徴を備えていること）	結果
繊維束になっている互いに平行な繊維である	* *
繊維束の端部ではつれが見られる	* *
細い針状の繊維である	* *
個々の繊維が絡まりあった塊である	* *
屈曲がみられる繊維である	* *

光学的性状		
④⑩ 分散色	使用した浸液の屈折率 (25℃)	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった時	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交になった時	* *
④⑪ 色	* *	
④⑫ 多色性	—有— —無—	
④⑬ 複屈折	—有— —無—	
④⑭ 消光角	直消光 — 斜消光 (— °) —	
④⑮ 伸長性	—正— —負—	

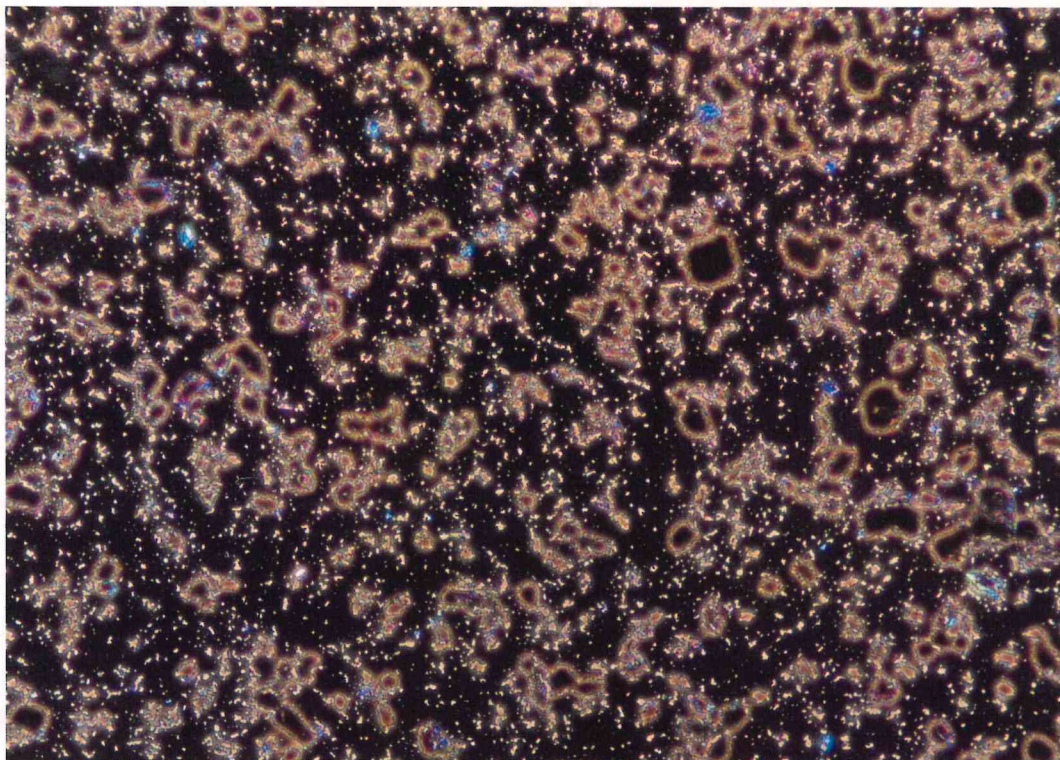
④⑯ 他所見	
--------	--

④⑰ 分析結果	
---------	--

10. 偏光顕微鏡において繊維が示す光学的性状の写真

分散色（浸液屈折率 1.550）

調製（灰化・塩酸処理）後の試料



アスベスト繊維無検出



石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 分析を実施した石綿分析機関

① 名 称	(株)コスモ環境衛生コンサルタント	② 代表者氏名	伊藤 教博
③ 所 在 地	愛知県名古屋市中区城北町三丁目 129-2 TEL : 052-529-2656 FAX : 052-529-2671		
④ 登録番号(作業環境測定機関)	第 2 3 - 7 1 号		
⑤ 分析実施者 ((社) 日本作業環境測定協会認定)	堀井 日出男 (JIS A1481-1 合格認定 2009 合 0008 号)		
⑥ 連絡担当者	堀井 日出男		
⑦ 分析方法	JIS A 1481-1 偏光顕微鏡法による定性分析		

2. 物件名称

⑧ 物件名称	東高森台住宅建替基本計画策定調査 (第1次)
--------	------------------------

3. 分析実施日

⑨ 分析実施日	令和3年10月26日 ~ 11月 2日
---------	---------------------

4. 分析結果

	⑩検出された アスベスト	⑪推定アスベスト 質量分率	⑫非アスベスト 繊維	⑬コメント
繊維 1 (別紙 1)	無検出	0 %	無	調製後の試料より アスベスト無検出を確定
繊維 2 (別紙 2)	* *	* *	* *	* *

5. 試料採取履歴

⑭ 採取年月日	令和3年10月12、13日			
⑮ 試料受付日	令和3年10月15日			
⑯ 建材名称	アクリル系リシン（塗材）			
⑰ 建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	東高森台住宅		
	用途	県営住宅		
⑱ 施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48、49年度に建設			
⑲ 建物などの採取部位及び場所	採取部位	外壁		
	場所	306号棟 北電気室		
⑳ 試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粉粒・小片状	均一性の有無	無
	試料の大きさ	大きさ：1.2cm×0.5cm 厚さ：1mm 他		
㉑ 採取者氏名	野田 隼大			

6. 分析試料の調製

㉒ 灰化	☒ 実施 ・ 未実施	電気炉 THOMAS TMF-5T 485℃ 10時間
㉓ 酸処理	☒ 実施 ・ 未実施	2mol/L 塩酸
㉔ 浮遊沈降法	実施 ・ ☒ 未実施	

7. 偏光顕微鏡の型式

㉕ 顕微鏡のメーカー・型式	メーカー	ニコン
	型式	ECLIPSE LV100ND
㉖ コンデンサ	型式	LV-CUD
㉗ 対物レンズ	型式	CFI P Achromat 10×40× (偏光用) CFI Plan Flour 40×DS (分散用) CFI Achromat 10×DS (分散用)

8. 繊維 1 偏光顕微鏡法 分析結果詳細

㊸形態学的性状（全ての特徴を備えていること）	結果
長さ 5 μm を超える繊維である	×
アスペクト比が 20 : 1 以上ある	×
繊維の伸長方向に沿って 0.5 μm の幅の細い単繊維に分けられる	×

㊹形態学的性状（いずれかの特徴を備えていること）	結果
繊維束になっている互いに平行な繊維である	×
繊維束の端部でほつれが見られる	×
細い針状の繊維である	×
個々の繊維が絡まりあった塊である	×
屈曲がみられる繊維である	×

光学的性状		
㊺ 分散色	使用した浸液の屈折率 (25℃)	1.550
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった時	* *
	繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交になった時	* *
㊻ 色	* *	
㊼ 多色性	— 有 — 無 —	
㊽ 複屈折	— 有 — 無 —	
㊾ 消光角	直消光 — 斜消光 (— °) —	
㊿ 伸長性	— 正 — 負 —	

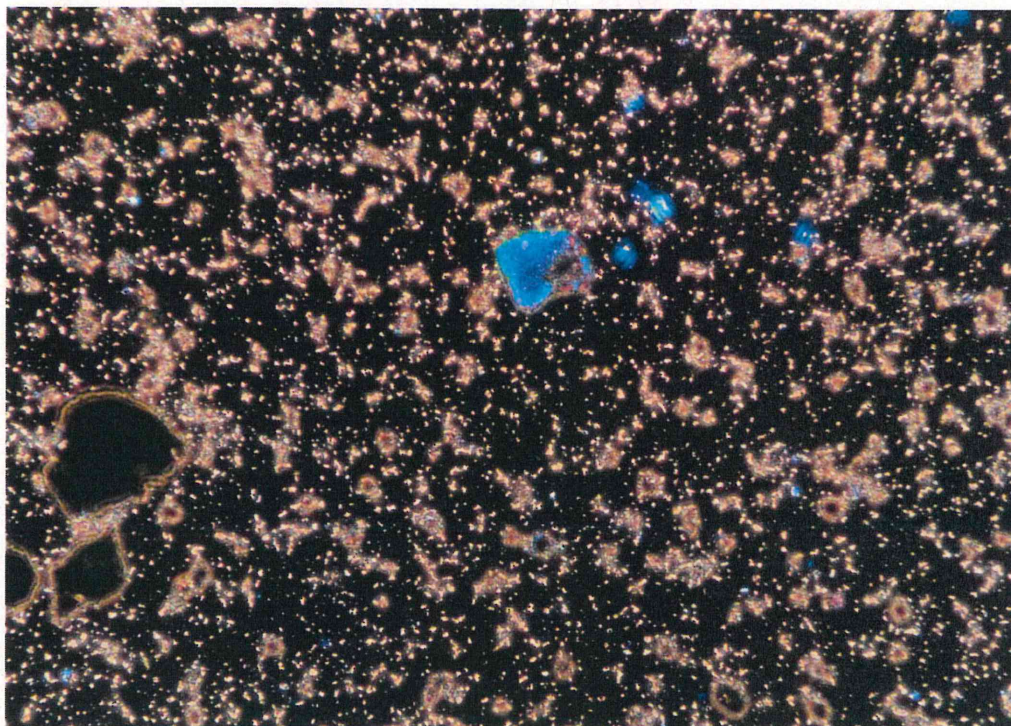
㊽その他所見	本試料は 2 層構造である。(11. 塗材写真 (断面) 参照) 調製後の試料よりアスベスト様形態を示す繊維は検出されなかった。
--------	---

㊾ 分析結果	無検出
--------	-----

10. 偏光顕微鏡において繊維が示す光学的性状の写真

分散色（浸液屈折率 1.550）

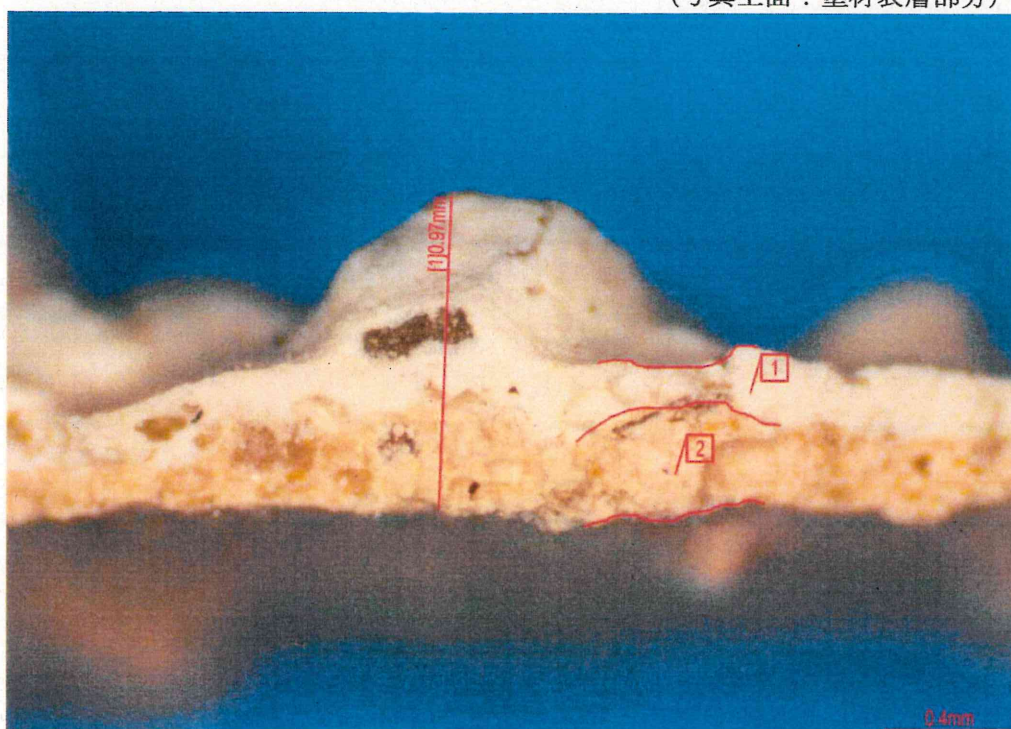
調製（灰化・塩酸処理）後の試料



アスベスト繊維無検出

11. 塗材写真（断面）

（写真上面：塗材表層部分）



アスベスト繊維無検出